

# 平成23年7月新潟・福島豪雨「あいづの今」

## はじめに

平成23年は福島県にとって未曾有の大災害の年でした。

1つは3月11日の東日本大震災とその後の原子力災害、もう1つは7月末に発生した新潟・福島豪雨災害。

この災害は、河川の氾濫による堤防の決壊や住家、農地の浸水など、新潟県・福島県の両県に大きな被害をもたらし、激甚災害に指定されました。JR只見線においては橋梁が流出し10年たった今でも一部区間が不通区間となっており、バスによる代行輸送が行われています。

一方で、復旧・復興は確実に進んでいます。

10年が経過した今、パネルを通して当時の記録を振り返り、風化を防ぐとともにいつ起こるか分からない災害への意識、そして備えをする一助になれば幸いです。



現在も不通となっているJR会津横田駅（福島県只見線再開準備室提供）

## 県内の主な被害状況

人的被害：行方不明者 1人

参考：新潟県 死者4人、行方不明者1人、負傷者13人

住家被害：全壊33棟

（柳津町1棟、金山町23棟、南会津町2棟、只見町7棟）

半壊198棟

（金山町61棟、南会津町2棟、只見町135棟）

一部損壊3棟

（金山町1棟、南会津町1棟、只見町1棟）

集落孤立：西会津町2集落、金山町3集落、南会津町5集落、

只見町9集落、檜枝岐村全村

自衛隊派遣：金山町、只見町、南会津町

会津地方災害対策本部員会議資料（H24.3.8）、南会津地方災害対策本部員会議資料（H24.4.4）一部抜粋



浸水被害に侵される金山町西谷地区（福島県災害対策課提供）

## 災害の背景・・・記録的な降水量

平成23年7月27日から7月30日にかけて、新潟県と福島県会津を中心に大雨となりました。

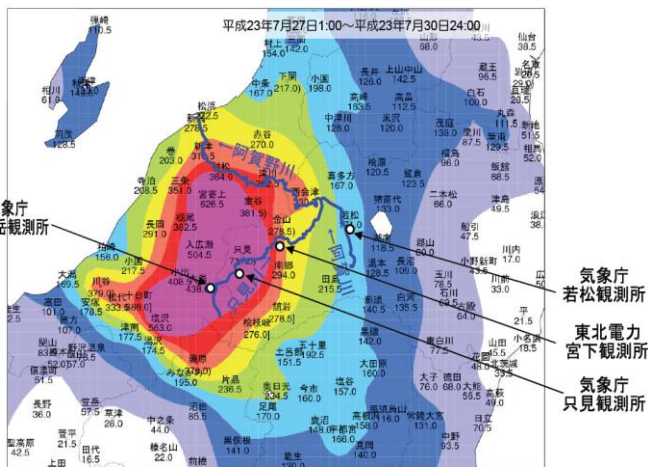
気象庁只見観測所では、**1時間雨量69.5mm**、**24時間雨量527.0mm**、**総雨量711mm**を記録、これは**観測史上1位**となります。

前線が朝鮮半島から北陸地方を通して関東の東にかけて停滞し、暖かく非常に湿った空気が流入し大気不安定となり、また上空の気温が-6℃前後と低かったことが、豪雨をもたらした大きな要因と考えられています。

この27日から30日にかけて災害をもたらした大雨について、気象庁は「**平成23年7月新潟・福島豪雨**」と名付けました。

出典：災害時気象速報平成23年7月新潟・福島豪雨（気象庁）

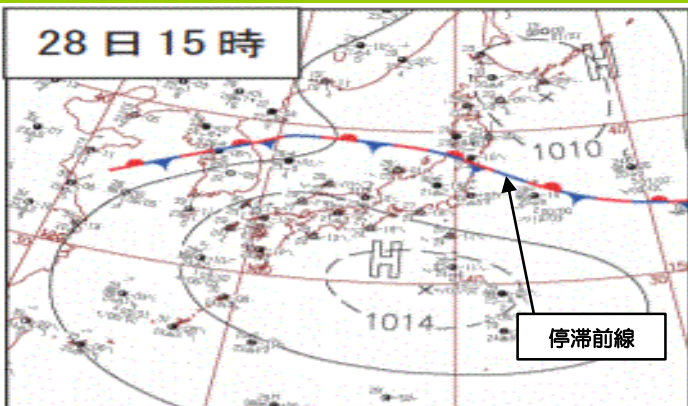
平成23年7月新潟・福島豪雨の発生要因について（平成23年8月4日気象研究所報道発表資料）



降水量資料については、福島地方気象台より。

### 平成23年7月新潟・福島豪雨等雨量線図

引用：第2回平成23年7月新潟・福島豪雨での只見川等の災害に関する情報連絡会 配布資料



引用：災害時気象速報平成23年7月新潟・福島豪雨（気象庁）一部加工

参考：雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

気象庁資料（[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougo\\_hp/amehyo.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougo_hp/amehyo.html)）をもとに作成  
パネル作成：福島県会津地方振興



# JR只見線の復旧に向けて

**JR只見線**は、福島県の会津若松駅と新潟県の小出駅を結ぶ全長135.2kmの路線です。

只見川や河畔に点在する集落、雄大な山々が四季を通じておりなす車窓からの絶景は、多くの旅行者等に愛されています。

しかし、平成23年7月新潟・福島豪雨で只見線は大きな被害を受けました。只見川にかかる第5橋梁、第6橋梁、第7橋梁が流出し、発災から10年がたった今でも会津川口駅～只見駅間は**不通区間**となっています。

**地域資源**でもある只見線を復旧したいという**地元の強い思い**が実を結び、2017年6月に基本合意を取り交わし、2018年6月に復旧工事起工式が執り行われました。そして、令和3年8月29日には、只見線が**全線開通**から**50周年**を迎えます。現在、**令和4年中の運転再開**を目指し、復旧工事が行われています。

参考：只見線ポータルサイト<https://tadami-line.jp/about/>



## 第5只見川橋梁 (会津川口駅～本名駅間)



2011.8.24撮影 (福島県只見線再開準備室提供)

## 第7只見川橋梁 (会津横田駅～会津大塩駅)



2011被災直後撮影 (福島県只見線再開準備室提供)



2020.9.17撮影 (福島県只見線再開準備室提供)



2021.4.5撮影 (福島県只見線再開準備室提供)

## 上下分離方式による鉄道復旧

**上下分離方式**とは、列車の運行を担う主体と、鉄道インフラの維持管理を担う主体を別の者とする仕組みのことをいいます。

不通区間の復旧工事完了後、JR只見線は会津川口～只見間は県が線路や駅舎などの鉄道施設等を保有管理し、JR東日本が列車を運行する上下分離方式により運営することとなります。

**上**を持つ**JR東日本**は、列車の運行に係る従業員、駅係員、車両等の運行に必要なものを保有管理し、**下**を持つ**県**は鉄道施設や土地を保有し、線路や駅舎等を管理します。

出典：只見線利活用計画（2018.3）

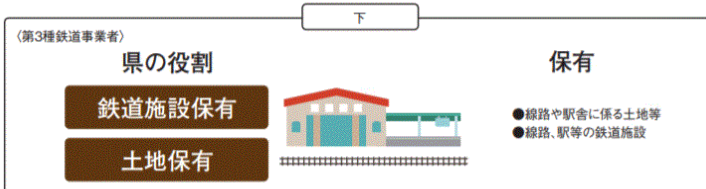
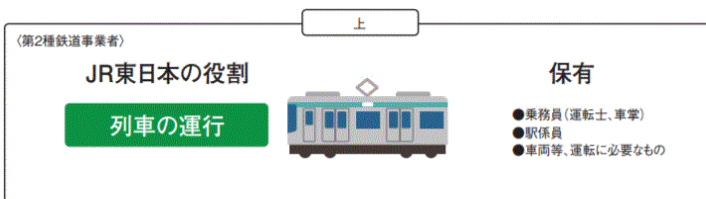
参考：一般社団法人日本民営鉄道協会<https://www.mintetsu.or.jp/knowledge/term/16390.html>

只見線ポータルサイト

只見線の魅力や、県及び沿線自治体等が只見線関連のイベント情報や沿線地域の観光情報をお届けしています。ぜひ只見線に乗って、奥会津地域にお越しください。



只見線ポータルサイト：<https://tadami-line.jp/>






# 災害に備える

## ハザードマップの確認


ハザードマップとは、土砂災害や洪水、津波等の**自然災害**による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路等の防災関係施設の位置等表示した地図です。  
自分の居住地の**災害リスク**を知り、事前に避難場所を確認しましょう。

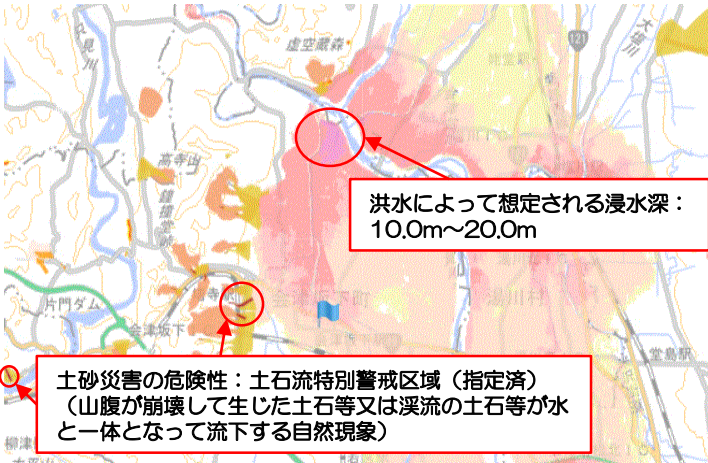
参考：国土交通省国土地理院<https://www.gsi.go.jp/hokkaido/bousai-hazard-hazard.htm>

**ふくしまほうさいウェブ**  
福島県内市町村ごとのハザードマップが確認できます。  
福島県危機管理課  
<https://www.city.motomiva.lg.jp/noshiki/38-78.html>



**ハザードマップポータルサイト**  
検索機能により全国の災害リスクが確認できます。  
国土交通省・<https://disportal.gsi.go.jp/>





洪水によって想定される浸水深：10.0m~20.0m

土砂災害の危険性：土石流特別警戒区域（指定済）（山腹が崩壊して生じた土石等又は溪流の土石等が水と一体となって流下する自然現象）

ハザードマップポータルサイトより作成

## 災害に対する危機意識

**正常性バイアス**：自分の住んでいる所で災害なんて起こるはずがない  
**同調性バイアス**：**みんな**逃げてないし、大丈夫だろう

**思い込み**は禁物！災害は「**起こるもの**」と捉え、日頃から備えましょう。

### 家族で確認

災害発生時の集合場所や避難所、情報連絡手段を事前に確認しておきましょう。

### 防災グッズの準備


水道・電気の不通やもしもの避難所生活に備え、食料、自家発電装置、衣服等をまとめておきましょう。

### 近隣とのネットワーク


地域の防災訓練に参加し、近隣住民と防災ネットワークをつくりましょう。もしもの時は助け合いです。

参考：内閣府[http://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h20/07/special\\_05.html](http://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h20/07/special_05.html)  
福島県危機管理課「そなえるふくしまノート」

**そなえるふくしまノート**  
災害はいつ起こるか分かりません。「そなえるふくしまノート」には、災害に対して普段から備えることや災害が起こってから行うことがまとめられています。QRコードよりご覧ください。  
福島県危機管理課：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01010a/sonaefukushima.html>



**ふくしまマイ避難ノート**  
「マイ避難」とは、一人ひとりの適切な避難行動のことです。水害から自分や大切な人の命を守るためには、災害が発生する前に安全な場所に速やかに避難する必要があります。「マイ避難ノート」には、防災グッズや避難のタイミング等の考え方がまとめられています。QRコードよりご覧ください。  
福島県危機管理課：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16025b/my-hinan.html>



## 危険度の高まりに応じて発表される**防災気象情報**とその**利活用**

気象状況	気象庁等の情報				市町村の対応	住民が取るべき行動	警戒レベル
大雨の 数日～ 約1日前	早期 注意情報 (警報級の 可能性)				<ul style="list-style-type: none"> <li>心構えを一段高める</li> <li>職員の連絡体制を確認</li> </ul>	<b>災害への心構えを高める</b>	<b>1</b>
大雨の 半日～ 数時間前	大雨注意報 洪水注意報	高潮 注意報	キキョウ (緊急伝達)	注意 (注意報級)	<b>第1次防災体制</b> (連絡要員を配置)  <b>第2次防災体制</b> (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	<b>自らの避難行動を確認</b> ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	<b>2</b>
大雨の 数時間 ～2時間 程度前	大雨警報 洪水警報	高潮警報に 切り替える 可能性が高い 注意報	警戒 (警報級)	注意 (注意報級)	<b>高齢者等避難</b> <b>第3次防災体制</b> (避難指示の発令を判断できる体制)	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	<b>3</b>
	土砂災害 警戒情報	高潮特別 警報	非常に 危険	注意 (注意報級)	<b>避難指示</b> <b>第4次防災体制</b> (災害対策本部設置)	<b>危険な場所から全員避難</b> ・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	<b>4</b>
	大雨 特別警報	高潮特別 警報	極めて 危険	注意 (注意報級)	<b>緊急安全確保</b> ※必ず発令される情報ではない	<b>命の危険 直ちに安全確保！</b> ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	<b>5</b>

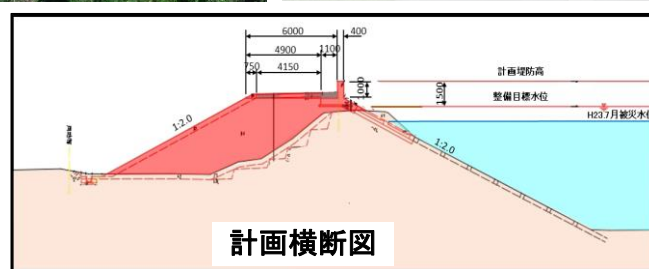
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞

1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。  
 2 「極めて危険」(濃い紫)が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の紋のみに活用することが考えられます。  
 「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成  
 引用：気象庁<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/alertlevel.html> (一部加工) パネル作成：福島県会津地方振興局



# 只見川(片門地区):河沼郡会津坂下町の堤防整備状況

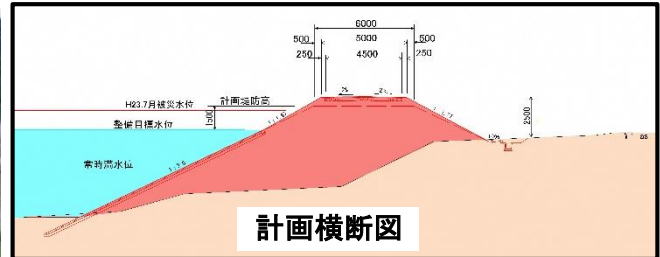
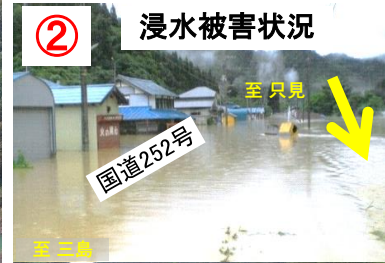
既設堤防高より約1.5m高くすると共に、堤防天端幅6m確保  
内水対策としてポンプ排水時のクレーン配備スペースを確保





# 只見川(橋立地区):大沼郡金山町の堤防整備状況

堤防が無い区間に新たに高さ約2.5mの堤防を整備



※被災写真 出典:平成23年新潟・福島豪雨災害の記録～語り継ごう次の世代に～ 発行:金山町



福島県会津若松建設事務所



# 国道252号(二本木橋):大沼郡金山町の 橋梁災害復旧状況(国土交通省(直轄代行事業))

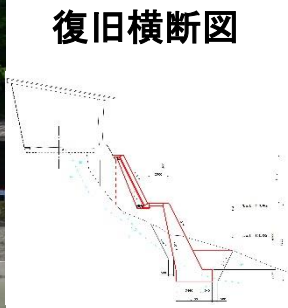
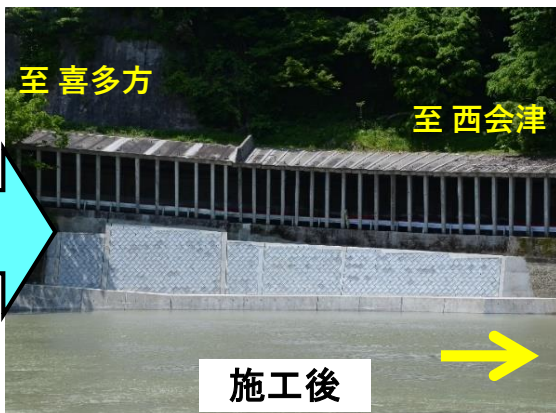
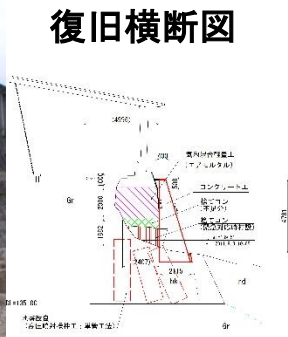
只見川の異常出水により二本木橋が流出(落橋)し、交通が寸断されましたが、国の代行工事により、被災から58日間で仮橋を設置し交通開放、その後約2年で本橋復旧を完了しました。





# 喜多方西会津線(峯地区):喜多方市高郷町の 道路災害復旧状況

阿賀川の増水により県道が冠水し、スノーシェッドが被災を受け全面通行止となりましたが、コンクリート擁壁及び積ブロック等を復旧し通行止を解消しました。





# 阿賀川(橋屋地区): 耶麻郡西会津町の 堤防整備状況

阿賀川が増水し、集落内の住宅が浸水被害  
堤防が無い区間に、延長400m、天端幅6mの堤防を整備

集落内浸水状況

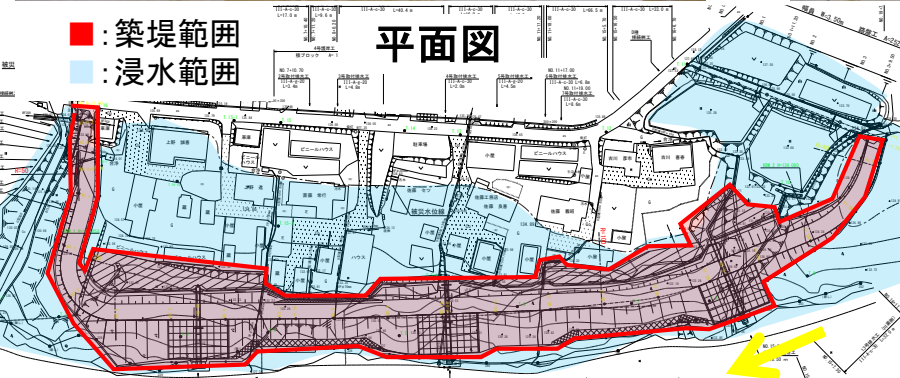


消防団活動状況



■: 築堤範囲  
■: 浸水範囲

平面図



施工後



施工後



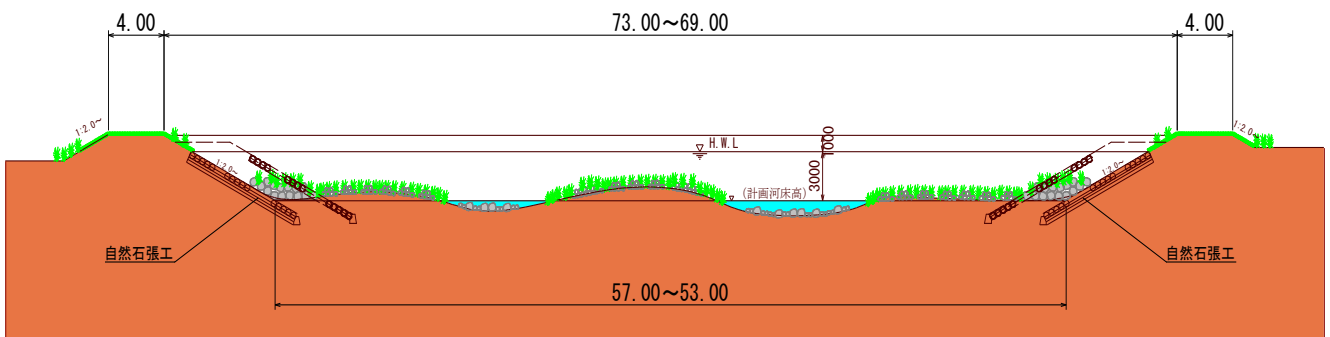


# 黒谷川(黒谷地区):南会津郡只見町の 河川災害復旧状況

復旧にあたり、より安全な施設とするため、河川及び道路の被災箇所間の未災害区間も含め、延長6.7kmにわたって復旧工事を行いました。



## 標準横断面図

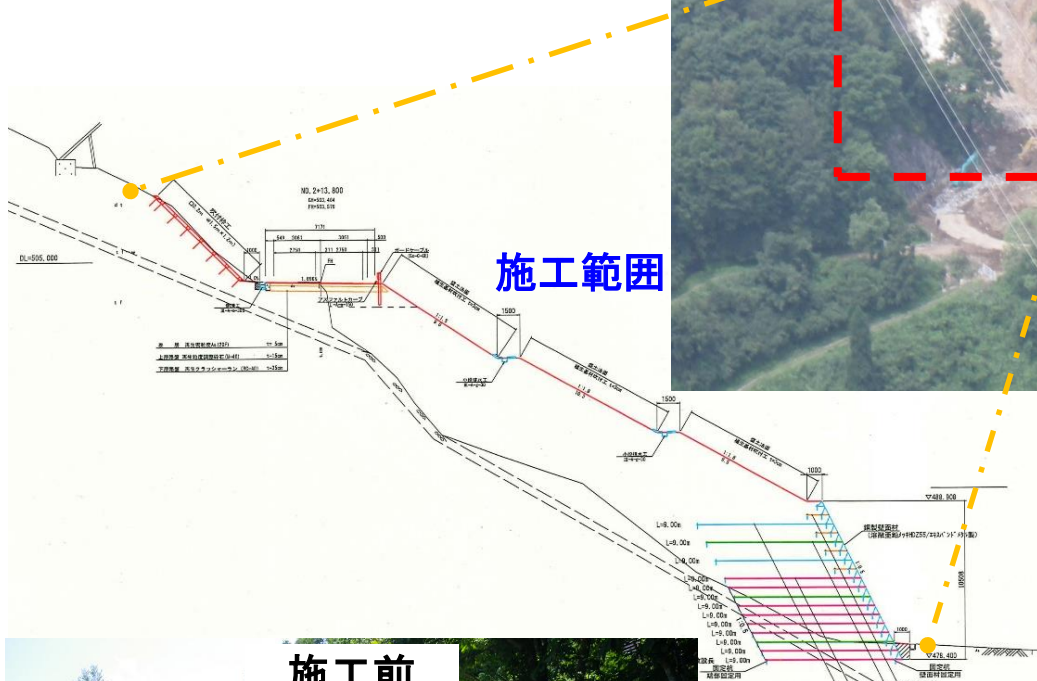




# 国道252号(大赤沢工区):南会津郡只見町の道路災害復旧状況

国道252号の一部区間において、道路や法面が崩落し、全面通行止となりましたが、道路及び法面を復旧し、通行止を解消しました。

### 標準横断図



### 被災状況



### 施工前



### 施工後



至新潟 (施工前の逆アングル)



# 農地・農村の被害と復旧

河川に近い農地を中心に、崩落や浸水などが発生し、稲やソバなど多くの農作物が被害を受けました。

金山町(本名地区)



被災直後



復旧後

農村地域の下水処理施設では、建物だけでなく、電気・機械設備も大きな被害が発生しました。

只見町(八木沢地区)



被災直後



復旧後



# 農業用施設の被害と復旧

河川から農業用水を取水する**堰**も大きな被害を受けて、用水確保が困難になりました。

只見町(黒谷地区)



被災直後



復旧後

農業用水を農地へ送る**ポンプ場**も浸水し、運転不能になりました。

喜多方市(大田賀地区)



被災直後



復旧後



# 林道の被害と復旧

河川の増水や山からの出水により林道が崩落し、通行が困難になりました。

南会津町(林道 大原線)



被災直後



復旧後

柳津町(林道 猿倉岳線)



被災直後



復旧後



# 復旧までの道のり・・・復旧工事の様子



被災直後の第五只見川橋りょう（写真提供：只見線再開準備室）



復旧工事が進む第五只見川橋りょう  
（2019年11月頃撮影 写真提供：只見線再開準備室）



被災直後の第六只見川橋りょう（写真提供：只見線再開準備室）



新たに橋が架け直される第六只見川橋りょう  
（2020年9月頃撮影 写真提供：只見線再開準備室）



復旧工事が開始される第七只見川橋りょう  
（2019年6月頃撮影 写真提供：只見線再開準備室）



新たに橋が架け直される第七只見川橋りょう  
（2020年10月頃撮影 写真提供：只見線再開準備室）



# 復旧までの道のり・・・被害状況



川岸が流出した会津川口駅～会津中川駅間  
(2011年8月頃撮影 写真提供：只見線再開準備室)



只見川に流出した第五只見川橋りょう  
(2011年8月頃撮影 写真提供：只見線再開準備室)



只見川に流出した第六只見川橋りょう  
(2011年8月頃撮影 写真提供：只見線再開準備室)



第六只見川橋りょうの流出により進路が途絶えたレール  
(2011年8月頃撮影 写真提供：只見線再開準備室)



只見川に流出した第七只見川橋りょう  
(2011年8月頃撮影 写真提供：只見線再開準備室)



第七只見川橋りょうの流出により垂れ下がるレール  
(2011年8月頃撮影 写真提供：只見線再開準備室)



# 「地方創生路線」を目指して

平成23年7月新潟・福島豪雨により現在も一部不通区間が生じているJR只見線。

令和4年中の運転再開に向け、会津17市町村や地域が一丸となって、地域の宝である只見線の利活用に取り組んでいます。

地方創生とは…  
人口減少・超高齢化という課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生すること  
参考：首相官邸  
[https://www.kantei.go.jp/jp/headline/chinou\\_sousei/](https://www.kantei.go.jp/jp/headline/chinou_sousei/)

写真：奥会津郷土写真家 聖賢孝

## JR只見線の魅力

JR只見線は福島県と新潟県をつなぐ路線で、豪雪地帯である周辺地域にとって大切な**交通機関**です。

また、只見川に沿ってゆっくりと走る只見線の魅力は、只見川や雄大な山々が四季を通して織り成す絶景です。

自然と調和した只見線は人々の心をわしづかみにし、その姿を求め国内外から多くの人々が訪れ、写真に収められています。

このことから、只見線は交通機関としての役割だけではなく、地域を活性化させる**地域資源**としての役割も担っています。

参考：只見線ポータルサイト<https://taclami-line.jp/about/>



写真：奥会津郷土写真家 聖賢孝

### 只見線が目指すべき姿

只見線が日本一の「**地方創生路線**」として生活路線、観光路線、教育路線、産業路線で利活用されるとともに、それらが循環し成長することで、何度でも**乗りたい**、**訪れたい**と思える路線・地域となる。

出典：只見線利活用計画（2018.3）



写真：奥会津郷土写真家 聖賢孝



パネル作成：福島県会津地方振興局



# 運転再開に向けて

## 機運醸成の取組

令和4年の運転再開に向けた機運醸成として、様々な取組が行われています。

只見線沿線自治体では、「**只見線にみんなで手を振ろう条例**」が定められ、乗客に対し**おもてなし**の気持ちを示し、力強く走る只見線を応援しています。

また、令和3年7月10日には、会津鉄道株式会社が保有する「お座トロ展望列車」が初めてJR只見線に乗り入れしました。

地域住民、交通事業者、地元自治体がそれぞれ**連携**し、只見線の運転再開を心待ちにしています。



写真：金山町



写真：会津鉄道株式会社

## 只見線応援団について



「只見線応援大使」ウー・シンティさん  
台湾の人気女優ウー・シンティさんは「只見線応援大使」第1号として委嘱されました。

只見線プロモーション動画に出演しています。

只見線プロモーション動画はQRコードからご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=OF5WYzATV4k>



日本一の地方創生路線をめざして  
**只見線応援団**

TADAMI LINE SUPPORTERS



福島県では、「東日本大震災」と2011年7月の「新潟・福島豪雨」によって甚大な被害を受けた「只見線」を後押しするため、「只見線応援団」を設立し、一緒に応援してくれる会員を募集しています。

只見線を全国に発信し、支援の輪を広げていきましょう。

只見線応援団  
会員証



会員特典として、沿線の旅館や食堂、施設などで割引や特典等が受けられる他、只見線に関する情報を随時お届けします。

※お寄せいただいた寄付金は、只見線の利活用促進や復旧のために使われます。

只見線応援団に関すること、会員加入方法はQRコードからご覧ください。

只見線ポータルサイト：<https://tadami-line.jp/>





# 「只見線土木遺産」の魅力

只見線には、大正後期から昭和中期に建造された多様な橋りょう群、トンネルを始めとし、地域の発展を支えた貴重な近代土木遺産が数多く残されています。

現在、福島県と只見線沿線の市町村等で作る「只見線利活用推進協議会」は、只見線の利活用推進施策の1つとして、近代土木遺産としての学術的な価値を通し、多くの人にその価値を再認識してもらい、魅力ある観光資源や、学習資源として活用されることを目的として、只見線の鉄道施設群の「選奨土木遺産」認定を目指しています。

## 土木学会「選奨土木遺産」とは

「選奨土木遺産」は、公益社団法人土木学会が、築50年以上の優れた歴史的土木建造物の顕彰を通じて、その保存に資することを目的に平成12年（2000年）に設立された認定制度。

〔選奨土木遺産認定制度〕

設立：平成12年（2000年）

対象：竣工後50年を経過した現存する土木構造物

選考組織：土木学会選奨土木遺産選考委員会

賞牌：認定書および青銅製の銘板を付与

〔設立の趣旨〕

### 社会へのアピール

…土木遺産の文化的価値の評価、社会への理解等

### 土木技術者へのアピール

…先輩技術者への仕事への敬意、将来の文化財創出への認識と責任の自覚等の喚起

### まちづくりへの活用

…土木遺産は、地域の自然や歴史・文化を中心とした地域資産の核との認識の喚起

### 失われるおそれのある土木遺産の救済

…貴重な土木遺産の保護

## 代表的な鉄道施設



### 第一只見川橋梁

所在地：福島県大沼郡三島町 会津松原～会津西方間

橋長：174m

形式：上路式2ヒンジスバンドレルプレストバランスアーチ

完成年：昭和13年（1938年）



### 第八只見川橋梁

所在地：福島県南会津郡只見町 会津塩沢～会津蒲生間

橋長：371m

形式：下路式曲弦ワーレントラスプレートガーダーコンクリート桁

完成年：昭和32年（1957年）



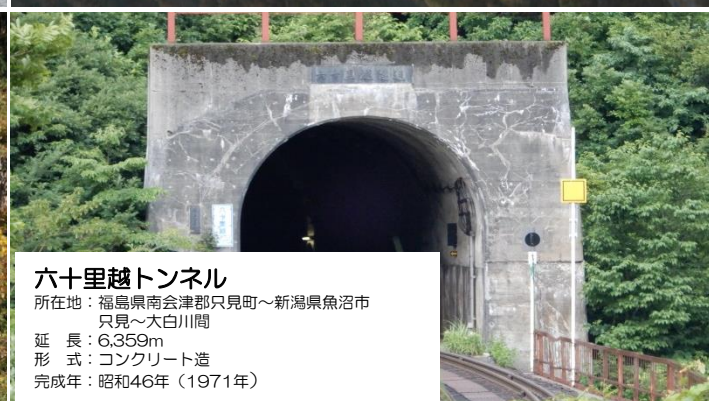
### 細越橋梁

所在地：福島県大沼郡金山町 早戸～会津水沼間

橋長：69m

形式：連続経間コンクリートアーチ

完成年：昭和14年（1939年）



### 六十里越トンネル

所在地：福島県南会津郡只見町～新潟県魚沼市

只見～大白川間

延長：6,359m

形式：コンクリート造

完成年：昭和46年（1971年）



# 四季を彩る只見線



春 夏  
秋 冬

